

## 農作物(果樹)の雪害事後対策

平成28年11月25日

農業技術課

11月24日の例年よりも早い降雪により、落葉の進んでいないブドウ棚に着雪し、ブドウ棚の倒壊(半壊)被害が発生しています。また、一部で雨よけ施設のキウイフルーツでも倒壊被害が発生しています。

積雪状況により圃場に入れぬ箇所もありますが、融雪が進み圃場内での作業の安全が確認でき次第、次の項を参考に復旧作業を開始してください。

### ○棚、樹体対策

- ・棚の倒伏した園では、樹体の裂傷等の被害を確認し、主幹部等に亀裂が発生している場合には、マイカー線等による補強を行ってから、支柱等を利用して樹体を持ち上げる。
- ・傷口にはビニール等を巻き付け、雨水がしみこまないようにするとともに、マイカー線等でしっかり結束する。
- ・樹体の保護の後に、棚等を点検し、アンカーの浮き上がりや支線の緩み、針金の切断などの修理・補修・補強を行う。
- ・被害を受けなかった園でも、積雪が多くなる箇所では今後の降雪に備えて、早めに荒切りを実施する。

### ○融雪対策

- ・積雪が特に多かった園や北面傾斜で雪が溶けにくい園で融雪が進まない場合には、圃場内の作業用路の確保のため、バーク堆肥などの比較的細かい堆肥を10aあたり200kg程度散布し融雪を促す。